

羽田 その通りです。

大村 私は、主任児童委員自身を専門家だと思っただけではなく、むしろ素人だと思っただけ活動にあたらなと大変なことになっただけと思っただけです。

精神的な課題を持つ家庭に対して、「大丈夫だよ」という安易なひと言が危険なことに陥ってしまうかもしれないので、やっぱり何かあったら、まず「つなげる」ことだと思っただけです。

主任児童委員は、児童のことを「専門的」にやるのではなく、「主に(専ら)児童のことを任されている」といわれますが、これは言い得て妙だと思っただけです。

藤原 主任児童委員は、児童心理学を学んだ方がなっているというわけでもありませんね。流山市では、小中学校のPTA経験者の方が多いですが、専門性を持つてゐるわけではないですね。

あくまで、専門職の後方支援役として、パイプ役を目指した方がいいと思っただけです。

泉 先ほど羽田さんが言われた専門性は、いわゆるプロフェッショナルとしての専門性ですか？

羽田 そうではないです。問題提起をしすぎた思っただけ(笑)

専門職としての専門性のことではないんです。先ほど、大村さんから「専ら」というお話がありました、言い換えれば、専任性ということなんじゃないかな。

関係機関、例えば学校がその地域の児童のことを考えた時に、「児童問題ならこの方」と主任児童委員の名前が挙がるくらいの顔のつながりと関係を築けていけば、非常に効率的に運ぶと思っただけです。

そうではないと、関係機関側からすると、児童委員と主任児童委員の違いもよくわからず、戸惑う場合があると思っただけです。

児童委員は、高齢者や障がい者にも関わる必要がありますし、児童分野は主任児童委員が専任性を持って、地域の関係機関と一番顔が繋がっている、ネットワークができていっているという形がよいのではないかなと思っただけです。

特に、児童委員が持っている非常に詳しい地域の情報を、関係機関などにうまくつないでいくという役割です。

大村 そうですね。

主任児童委員制度は、児童委員の部分を賦活(※活力を与えること)するためにはできたんですよ。

関係機関が、一人ひとりの児童委員に

言っただけは大変だから、主任児童委員を窓口として集約した情報を児童委員に伝える。逆に、地域のことは、主任児童委員が集約し、関係機関に伝えるという流れですね。

そういう迂回路を作らなくても、直でつながることができるといふ関係性ができるのであれば、それはそれでいいと思っただけですが、事後でもいいので主任児童委員にも、きちんと地域のことを伝えてもらえればありがたいですね。全体のことが見えますので。

伊藤

児童問題は、見守りひとつとっても、高齢者とは違って大変難しいところがあるから、児童委員ひとりが抱えこまないよう主任児童委員と協働して動いていくことが大切だと感じています。

藤原

私のところも、見守り活動をする際は、市の子ども家庭課と相談の上、その区域担当の児童委員さんと一緒にしています。子どもに関する情報は、根が深いところにあたりするから、ひとりでは動かないです、主任児童委員連絡会や定例会の時に、みんなどうすれば一番いいかなというところは常に相談しながらやっています。

阿部

定例会の中で、主任児童委員の報告時間を設けている民児協もありますね。どういう児童問題が起きているのか、それを共有しながら進めていく。児童委員活動の結果は、必ず主任児童委員に伝えていくような体制が確立されていけばいいですね。

泉

主任児童委員と児童委員が、一緒に情報交換できるというのは、すごく大切なことだと思うんですが、とある地区では定例会に主任児童委員が参加しないというところも実際ありました。

その方が言うには、定例会で児童問題を全然取り上げてくれないから出ても意味がないと言われていました。

伊藤

主任児童委員は、民生委員児童委員としての委嘱状もいただいているんですね。双方を分けて考えるのではなく、児童委員の中から「主に児童を担当する」委員として、主任児童委員が置かれているという認識をあらためて持つ必要がありますよね。

泉

主任児童委員と児童委員が連携しているためには、まずどこからスタートしていく必要があると思いますか？



習志野市データ (H27.4.1 現在) ●地区数 12 / ●区域担当児童委員定数 168 名、実数 162 名 (男 68、女 94) / ●主任児童委員定数・実数 24 名 (女 24)

大村

主任児童委員ができた当初の悲話は全国的にたくさん聞いています (笑)

定例会に出たら、自分だけ名札がないとか、「主任って偉いわけ？」とか……。区域担当の児童委員とは、嫁姑くらいの年齢差があるわけです。

主任児童委員自身も、一生懸命、模索しながら、ここまで活動をしてきました。その時の地区会長さんが常々「主任児童委員は、民生委員児童委員でもあるんだから」と言って、定例会で居場所を作る努力もしていただきました。

主任児童委員は、対外的な関係をつむぐことよりも前に、自分の地区内の関係を良好なものにしていくということが大切だと思います。



浦安市データ (H27.4.1 現在) ●地区数 5 / ●区域担当児童委員定数 107 名、実数 99 名 (男 25、女 74) / ●主任児童委員定数・実数 10 名 (女 10)

児童委員に比べて若い場合が多いので、そこはうまくやっていかないといけないと思います。

伊藤 そうですね。悲しい話がいっぱいあってね (笑)

羽田

千葉県全体を見ると、町村の主任児童委員は 2 人しかいないので、主任児童委員だけで考える場というのもし少ないかもしれませんね。

これが、ある程度の規模だと、主任児童委員数も多く、自分たちだけで話し合う・考える場を作ることができますし、民児協の中でも居場所を作ることができます。それと、組織としても (主任児童

委員連絡会のような場を作りやすいところがあるんじゃないかな。

鴨川市には、4地区8人の主任児童委員がいます。2人しかいない地区民児協の中で、何かを考えて活動することはなかなか難しいですが、8人集まれば自分たちで考えたことを自分の地域の児童委員と一緒にやって始めるという流れができてきます。

あと、主任児童委員は、平成21年から「こんにちは赤ちゃん事業」に関わるようになり、市の保健師とのつながりが非常に強くなりました。定期的に行っているケースの意見交換をしているんです。

以前は、主任児童委員も自分たちの立ち位置が見えにくかったところがあると思いますが、専門性を持つ保健師と関わることで、役割や立ち位置が段々と見えてきているところがあります。

お母さんたちとの関わり方も難しいところがあるので、専門職との関わりが重要なケースも多いですし、そういった専門職との接点を多く持つことができる環境を整えていくと、非常に活動しやすくなると思います。

**大村** 基本、主任児童委員は地域の実情に応じて、自ら活動を探して作っていくものなので、そこが大変なんですよ。

## はじめの一步はどこから？

**泉**

児童福祉に関わるきっかけが難しいという話もお聞きすることがあります。初めの一步としては、何から始めるのが一番よいと思いますか？

**大村**

主任児童委員になる前は、例えばPTAや青少年補導員であるとか、各々何かをやっているから主任児童委員になったというところがありますよね。

皆さんは、そこで得意分野とネットワークを持っていくわけですよ。まず、その強みを生かすところから始めるといいと思います。

浦安も、5地区10人と少人数だからこそ、フットワークよく動くことができるので、主任児童委員それぞれが持つ情報を集約した後、自分の地区民児協の児童委員に、そうした情報や自分が研修してきたものを発信するといったことから始まりますね。

自分の得意分野と児童委員をつなげるというんでしょうか。

**藤原**

大村さんと同じですね。それに加えて、子どものことが好きで、子どものことに関わっていたいという思い、子

どものことを大切に思う気持ちが何より大切だと思いますね。

**伊藤**

私自身、平成6年に主任児童委員になったのは、PTAが縁でしたので、まず学校の窓口という役割を一番初めに始めたんです。学校とも顔がつながっていましたしね。

**羽田**

学校や幼稚園、保育園といったところとの関わりを作っていく、取っかかりをつくっていくという作業が一番のスタートなのかなと思いますね。

同時に、民児協の中で、自分たちの居場所のようなものをつくっていく。この2つの作業をしていくことが最初の入り



鴨川市データ (H27.4.1 現在) ●地区数 4 / ●区域担当児童委員定数・実数 70 名 (男 34、女 36) / ●主任児童委員定数・実数 8 名 (女 8)

(羽田)口なんだろうなと思っています。

泉 今お話の出た学校については、よくガードが堅いという話も聞いたことがあります。皆さんが地域ではないかがですか？ また、地域のその他の関係機関とはどのように関わっていく必要があると感じていますか。

羽田 生活というところにスポットを当てて物事を見ようとする福祉と、生活から切り離れたところで教育をしっかりとしていくという学校とは、立ち位置に大きな違いがあります。

そういうところに、児童委員が全員で顔をつなぎましょうというよりは、主任児童委員がまず顔をつなぎながら入っていくといいのかなと思います。

阿部 私のところでは、学校の先生と保護

者、児童委員が集まって「ミニ集会」というのをやっているんですが、「こういう子どもがいるよ」という情報発信は学校がしてくれますね。中学校とも、年に1回会合を持って、教務主任から具体的な説明をしていただいています。

この時、いろいろな問題点や対処方法などを話し合う中で、学校の様子や児童のことを把握できていますね。

児童委員は、児童と直接話をして問題を解決するということは、ほとんどないと思うんです。保護者や家族との話し合いの中で、子どもが抱えている問題を解決していくとします。ですので、きちんとネットワークを組んで問題を探り、解決につなげていく必要があると思います。



成田市データ (H27.4.1 現在) ●地区数 10 / ●区域担当児童委員定数 187名、実数 184名 (男 131、女 53) / ●主任児童委員定数・実数 20名 (女 20)

藤原 学校との関係は、校長先生によるところが大きいですね。

ある年、学級崩壊を起こしているクラスがあったので、その時の校長とお話してみたんですが、あまり来ない。と、それ、別の校長に代わってからは、

クラス替えをはじめ、積極的に行っている取り組みをして学級崩壊が解消されたことがあったんです。上が代わると、先生たちも気さくになってきたりと、対応もがらりと変わってきますね。

学校側のガードが固いのも事実なんですけど、少しでも入り込んでいきたいなと思っています。



流山市データ (H27.4.1 現在) ●地区数 8 / ●区域担当児童委員定数 147名、実数 141名 (男 43、女 98) / ●主任児童委員定数 16名、実数 14名 (女 14)

泉 やはり、校長先生以外にパイプを作っていくのは難しいものですか？

大村 校長と教頭、教務主任の3人が一度に代わることはまずないので、連絡会等を例年通りの時期に開くことを習慣化していくことはできると思います。